カリキュラムマップ　A領域 教職教養領域 （令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4 教職論 1 前	教育学部で学ぶこと 1 前	教育原論 1 後	学校教育心理学 1 前	教育社会学概説 2 前	教育経営・法規 1 後	教育課程論 1 後	道徳教育指導論 3 前	特別活動指導論 2 後	教育の方法および技術（情報通信技術の活用を含む） 2 前	生徒指導論・進路指導論 2 後	教育相談の理論と実際 2 前	特別支援教育基礎 1 前	総合的な学習の時間指導法 3 前	個を大切にするための心理学 3 後	心理学概論 2 前	山陰地域の教育課題 2 前	学校の“今”を学ぶ―教育の理論と実践を結ぶ― 3 後	学校教育のためのSDGs 1 前	グローバル教育入門 1 通	グローバル教育A 1 前	グローバル教育B 1 前	グローバル教育C 1 通	グローバル教育D 2 通	教職実践演習 4 後
			（年） （期）																									
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。	○		○		○	○	○	○					○					○						
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。	○		○	○		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。		○			○				○						○		○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。	○				○	○	○								○	○								
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。			○			○					○	○			○	○								○
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。	○	○	○	○	○	○			○		○	○							○	○	○	○	○	○
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。				○	○	○									○		○						
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。					○						○	○			○			○	○		○	○		○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。		○		○	○						○	○			○			○			○	○		○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。								○	○					○				○						
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。										○				○			○	○	○					
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。								○		○								○						
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。				○				○	○							○	○						
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。				○			○	○					○				○						
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。								○									○						
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。	○			○				○	○		○	○	○		○	○	○	○						
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。				○		○			○		○	○	○		○	○	○	○						
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。				○						○					○	○		○						
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。		○							○	○				○	○	○		○	○					

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 小学校教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	学校教育実践学原論	初等教育実践基礎A	初等教育実践基礎B	初等教育実践基礎C	初等教育実践基礎D	初等教育実践基礎E	初等国語科内容構成研究	初等社会科内容構成研究	算数科内容構成研究	初等理科内容構成研究	生活科内容構成研究	初等家庭科内容構成研究	初等英語科内容構成研究	初等音楽科内容構成研究	図画工作科内容構成研究	初等体育科内容構成研究	初等国語科教育法概説	初等社会科教育法概説	算数科教育法概説	初等理科教育法概説	生活科教育法概説	初等家庭科教育法概説	初等英語科教育法概説	初等音楽科教育法概説	図画工作科教育法概説	初等体育科教育法概説	授業実践研究	卒業研究
			（年） （期）	1 後	2 前	2 前	2 後	3 前	3 前	1 後・2 前	1 後・2 前	1 後・2 前	1 後・2 前	1 後・2 前	1 後	1 後・2 前	1 後・2 前	1 後・2 前	1 後・2 前	2 後・2 前	2 前・2 後	2 前・2 後	2 前・2 後	2 前・2 後	2 前・2 後	2 前・2 後	2 前・2 後	2 前・2 後	2 後・2 前	3 前	4 通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。	○	○	○				○																				
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。	○	○	○	○	○	○																				○	
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。						○																						○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。	○	○	○	○	○	○																					
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。	○	○				○																					
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。		○	○			○																					
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。		○		○		○				○										○							
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。											○			○		○		○	○		○						
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。		○				○			○		○			○		○				○						
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。				○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。					○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。										○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																					○						
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。					○					○						○	○		○	○	○		○	○	○		
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																		○		○	○						
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。				○						○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。	○	○		○	○	○				○		○				○	○	○	○		○		○		○		
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。				○								○				○									○		
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。										○	○		○			○	○	○	○		○		○		○		○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［特別支援教育専攻］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																				
				特別支援教育総論	知的障害児心理・病理研究	肢体不自由児心理・病理研究	病弱児心理・病理研究	知能・認知発達アセスメント法	特別支援心理・病理特殊講義	知的障害児教育研究	肢体不自由児教育研究	病弱児教育研究	特別支援教育総合演習	発達障害教育実践研究	発達障害教育実践演習	視覚障害児教育総論	聴覚障害児教育総論	初等国語科内容構成研究	初等社会科内容構成研究	算数科内容構成研究	初等理科内容構成研究	生活科内容構成研究	初等家庭科内容構成研究	初等英語科内容構成研究	初等音楽科内容構成研究	図画工作科内容構成研究	初等体育科内容構成研究	初等国語科教育法概説	初等社会科教育法概説	算数科教育法概説	初等理科教育法概説	生活科教育法概説	初等家庭科教育法概説	初等英語科教育法概説	初等音楽科教育法概説	図画工作科教育法概説	初等体育科教育法概説	卒業研究
			（年） （期）	2 前	2 前	2 前	3 前	3 前	2 前	2 後	2 後	2 前	3 後	3 前	3 後	2 後	2 前	1後・2 前	1後・2 前	1後・2 前	1後・2 前	1後・2 前	1 後	1後・2 前	1後・2 前	1後・2 前	2後・3 前	2後・2 前	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2前・2 後	2後・3 前	4 通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。	○									○					○																○		○	
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。	○									○																					○		○	
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。						○					○	○			○	○	○	○	○	○			○			○	○	○	○	○	○			○		○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。						○					○	○																							○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。	○					○	○	○	○	○																									○
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。	○					○	○	○	○	○																									○
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。	○																																		○
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。	○										○	○					○								○		○								○
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。					○					○								○			○		○				○							○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。					○					○						○		○		○	○		○				○	○						○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。							○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。							○	○	○				○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。							○	○	○								○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。							○	○	○										○											○				
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。							○	○	○								○						○	○		○	○	○	○	○	○	○		
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。							○	○	○																○		○	○						
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。		○	○	○	○						○	○						○		○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。		○	○	○	○													○		○	○			○	○		○	○			○		○	
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。	○						○	○	○	○			○	○										○				○					○	
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。	○						○	○	○	○			○	○				○	○		○			○	○	○	○				○		○	

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 国語科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4
				日本語学Ａ：日本語概説
				日本語学Ｂ Ⅰ：日本語史
				日本語学Ｂ Ⅱ：日本語史
				日本文学史Ａ：日本古典文学史
				日本文学史Ｂ：日本近代文学史
				日本文学演習Ａ Ⅰ：古典文学講読
				日本文学演習Ａ Ⅱ：古典文学研究
				日本文学演習Ｂ Ⅰ：近現代詩研究
				日本文学演習Ｂ Ⅱ：近現代小説研究
				日本文学特殊講義Ａ：古典文学
				日本文学特殊講義Ｂ：近代文学
				日本文学特殊講義Ｃ
				漢文学基礎講義
				漢文学演習
				漢文学講義
				書写演習Ⅰ
				書写演習Ⅱ
				中等国語科教育法概説
				国語科コミュニケーション教育
				国語科教材開発
				国語科授業設計
				国語科教育臨床
				国語科教育実践
				日本語学内容構成基礎研究
				日本文学内容構成基礎研究Ａ：古典文
				日本文学内容構成基礎研究Ｂ：近代文
				漢文学内容構成基礎研究
				書写内容構成基礎研究
				語彙・文法教材研究
				日本文学教材研究Ａ：古典文学
				日本文学教材研究Ｂ：現代文学
				漢字・漢文教材研究
				書写教材研究
				書道実習Ａ
				書道実習Ｂ
				書道実習Ｃ
				書道演習Ａ
				書道演習Ｂ
				書道演習Ｃ
				書道史
				書論
				書道科教育法概説
				書道科教育法演習
				卒業研究
			（年）	2前・2後	2後	3前	1後	2前	2前・3前	2後	2前・3前	2前・3後	3後	3後・4前	2前・2後	1後・2前	2前・2前・3前・4後	2前・3前	1後・2前	2前・3前	2前	2前	2後	2通	3前	2前	1後	1後	1後	1後	1後	1後	2後	2後	2後	2後	2後	2後	2後	2前	2前	2前	2後	2後	2後	2後	2前	2後	2後	3前	4通
			（期）																																																		
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																																																	
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																			○																														
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。																							○																									○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																																																
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																																																
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																																																
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																																																
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。															○																																				
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。															○							○																											
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識・技能を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識・技能を有し，授業等で実践できる。						○	○		○				○	○		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○											
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。															○	○	○	○		○							○	○	○										○	○											
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。			○			○													○																														
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																							○																										
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																								○																								
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																				○																													
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																																																
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																																																
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。																						○	○	○																									

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［国語科教育専攻］（令和8年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4 日本語学A：日本語概説	日本語学BⅠ：日本語史	日本語学BⅡ：日本語史	日本文学史A：日本古典文学史	日本文学史B：日本近代文学史	日本文学演習AⅠ：古典文学講読	日本文学演習AⅡ：古典文学研究	日本文学演習BⅠ：近現代詩研究	日本文学演習BⅡ：近現代小説研究	日本文学特殊講義A：古典文学	日本文学特殊講義B：近代文学	日本文学特殊講義C	漢文学基礎講義	漢文学演習	漢文学講義	書写演習Ⅰ	書写演習Ⅱ	中等国語科教育法概説	国語科コミュニケーション教育	国語科教材開発	国語科授業設計	国語科教育臨床	国語科教育実践	国語科内容構成基礎研究	国語科内容構成研究	書道実習A	書道実習B	書道実習C	書道演習A	書道演習B	書道演習C	書道史	書論	書道科教育法概説	書道科教育法演習	卒業研究
			（年） （期）	2 前・2 後	2 後	3 前	1 後	2 前	2 前・3 前	2 後	2 前・3 前	2 後・3 後	3 後	3 後・4 前	2 前・2 後	1 後・2 前	2 前・2 後・3 前・4 後	2 前・3 前	1 後・2 前	2 前・3 前	2 前	2 前	2 後	2 通	3 前	2 前	1 後	2 後	2 前	2 前	2 前	2 後	2 後	2 後	2 前	2 後	2 後	3 前	4 通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																																		
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																		○																
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○										○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。																					○													○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																																		
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																																		
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																																		
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																																		
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。														○																				
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。														○				○			○												
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識・技能を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識・技能を有し，授業等で実践できる。							○	○		○					○	○		○					○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																		○	○	○	○		○		○									○	○
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。					○		○																○											
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																						○												
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																							○											
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																			○															
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																																		
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																																		
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。																			○	○	○													

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［英語科教育専攻］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4 英語コミュニケーションAI：英会話	英語コミュニケーションAII：英会話	英語コミュニケーションAIII：英会話	英語コミュニケーションAIV：英会話	英語コミュニケーションBI：英作文	英語コミュニケーションBII：英作文	英語コミュニケーションBIII：英作文	英語コミュニケーションBIV：英作文	英語コミュニケーションCI：実践演習	英語コミュニケーションCII：実践演習	英語学AI：概説	英語学AII：概説	英語学BI：音声学	英語学BII：音声学	英語学CI：意味論・語用論	英語学CII：意味論・語用論	英語学D：英語史	英語学E：統語論	英語文学AI：概説	英語文学AII：概説	英語文学BI：鑑賞・批評	英語文学BII：鑑賞・批評	異文化理解A：異文化の交流と理解	異文化理解B：異文化理解研究	英語科教育学AI：概説	英語科教育学AII：授業設計	英語科教育学BI：学習者支援	英語科教育学BII：コミュニケーション研究	英語科教育学C：研究法	英語科内容構成研究A：教材研究	英語科内容構成研究B：模擬授業	英語科内容構成研究C：実践研究	卒業研究
			（年）	1	2	2	3	1	2	2	4	3	3	1	2	1	2	2	3	2	3	1	2	2	2	1	3	2	2	2	4	3	3	3	3	4
			（期）	後	前	後	前	後	前	後	後	前	後	後	前	後	前	後	前	前	前	後	前	前	後	後	前	前	後	後	前	前	前	前	前	通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																									○								
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																									○			○			○		
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。					○	○						○	○	○	○	○			○	○	○					○			○	○		○		○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。					○	○						○			○	○												○	○				○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																							○	○									
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																									○	○							
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。										○															○			○					
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																							○	○									
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。																																	○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。																																	○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。									○																			○					
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。									○																	○				○	○		
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。									○																							○	
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																									○			○					
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																																	○
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																							○	○			○						
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																							○	○			○						
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																											○		○				
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。						○	○																		○							○	

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 社会科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																																	
				日本史概説Ⅰ	日本史概説Ⅱ	日本史課題研究	日本史講読	東洋史概説Ⅰ	東洋史概説Ⅱ	アジア共生論	アジア共生史講読	西洋史概説Ⅰ	西洋史概説Ⅱ	共生社会史	西洋史講読	自然環境論	自然地理学概説Ⅰ	自然地理学概説Ⅱ	人文地理学概説Ⅰ	人文地理学概説Ⅱ	地域共生学	地誌学概説	風土環境論	地誌学実習Ⅰ	地誌学実習Ⅱ	地誌学実習Ⅲ	法律学概論	政治学概論Ⅰ	政治学概論Ⅱ	経済学概論	社会学基礎	社会学概論	文化人類学概論	現代社会論	フィールドワーク論	共生社会福祉学概論Ⅰ	共生社会福祉学概論Ⅱ	高齢者福祉論	共生思想論講読	倫理学特講	倫理学概論	哲学・思想史概論	哲学・思想史特講	中等社会科教育法概説	地理歴史科指導法	公民科指導法	中等社会科教育臨床	地理歴史科教育法概説	公民科教育法概説	教科内容構成研究（歴史分野）	教科内容構成研究（地理分野）	教科内容構成研究（公民分野）	卒業研究
			（年）（期）	1後	2前	2後	2通	1後	2前	2前	2通	1後	2前	2前	2通	2前	2前	2後	1後	2前	2後	2前	2後	2通	3通	4通	2前	1後	1後	2後	1後	2前	2前	3前	2後	2前	2後	2通	2後	2前	2後	1後	2前	1後	3前	2後	2前	2後	2前	3通	3通	3通	4通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																																																		
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																																																			
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○										○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																															○																			
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																																					○	○												
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																																									○						○	○	○	
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。																					○	○	○								○	○																		
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。																																																		○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。																																																		○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																																									○	○	○		○	○		○	○	
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																																									○	○	○	○	○	○				
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																																												○						
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																																										○	○	○	○	○		○	○	
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																																																		
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																																																		
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																												○																○						
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。																																									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［数学科教育専攻］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標
			（年）
			（期）
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。

階層4																														
線型代数学Ⅰ	線型代数学Ⅱ	代数学Ⅰ	代数学Ⅱ	幾何学Ⅰ	幾何学Ⅱ	幾何学続論Ａ	幾何学続論Ｂ	微分積分学Ⅰ	微分積分学Ⅱ	微分積分学Ⅲ	関数論	確率論・統計学Ⅰ	確率論・統計学Ⅱ	応用数学概論Ⅰ	応用数学概論Ⅱ	コンピュータⅠ	コンピュータⅡ	情報数学Ⅰ	情報数学Ⅱ	数学科教育法概説Ⅰ	数学科教育法概説Ⅱ	数学科教育法特講	数学科教育法臨床	数学科内容構成特論Ａ	数学科内容構成特論Ｂ	数学科内容構成研究	数学科内容構成実践	卒業研究
1後	2前	2後	3前	1後	2前	2後	3前	1後	2前	2後	3前	2前	2後	1後	2前	2前	2後	1後	2前	2前	2後	3前	3後	1後	2前	3通	4前	4通
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
																										○	○	○
																				○	○	○	○					
																						○	○					
																								○	○	○	○	○
																								○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
																						○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
																				○	○	○	○					
																							○					
				○									○			○	○			○	○	○	○			○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 理科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標
			（年） （期）
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。

物理学Ⅰ	物理学Ⅱ	物理学演習	物理学基礎実験Ⅰ	物理学基礎実験Ⅱ	化学Ⅰ	化学Ⅱ	化学演習	化学基礎実験Ⅰ	化学基礎実験Ⅱ	生物学Ａ	生物学Ｂ	生物学演習	生物学基礎実験Ⅰ	生物学基礎実験Ⅱ	地学Ⅰ	地学Ⅱ	地学演習	地学基礎実験Ⅰ	地学基礎実験Ⅱ	理科教育法概説	理科教育法臨床研究	理科教育学特講	理科教育観察・実験法	理科教育演習	理科内容構成研究Ⅰ（物質エネルギー科学）	理科内容構成研究Ⅰ（生命地球科学）	理科内容構成研究Ⅱ	理科内容構成研究Ⅲ（総合）	自然科学史特講	理科教育研究法演習	理科教育論文講読演習	フィールド科学実習	卒業研究
1後	2前	2後	1後	2前	2前	2後	3前	2前	2後	2前	2後	3前	2前	2後	1後	2前	3前	2前	2後	2前	2後	2後	3前	3後	2後	3前	3前	2後	3後	4前	2前	4通
																				○	○	○	○	○								○
																				○	○	○	○	○								○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
																					○	○	○										○
																				○	○	○	○	○								○
			○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		○					○					○					○							○					○				○
			○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
			○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○				○	○				○	○				○	○				○		○	○	○				○	○
																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○	○				○	○				○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 保健体育科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																								
				スポーツ哲学	スポーツ史	スポーツ社会学	スポーツ心理学	スポーツ心理学演習	スポーツ心理学実験	運動生理学	運動生理学演習	運動生理学実験	スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス演習	スポーツバイオメカニクス実験	スポーツ指導論	テニス（理論）	栄養学	公衆衛生学	救急処置法	学校保健	健康教育学演習	体操・器械運動	陸上競技	ダンス・からだほぐし	水泳	柔道	剣道	サッカー	バスケットボール	バレーボール	テニス・卓球・バドミントン	ソフトボール	スキー	野外活動	テニス（応用）	体操・ダンス教材研究	陸上・球技教材研究	武道教材研究	健康教育教材研究	保健体育科教育法概説Ａ（体育	保健体育科教育法概説Ｂ（保健	保健体育科教育法臨床	保健体育科教育法特講	卒業研究
			（年）（期）	1後	2後	2前	2前	2後	3前	1後	2前	3後	2前	2後	3後	2前	1後	2後	2前	2前	2後・3後	3後	1前	1前	1前	1前	2後	2前	2前	1後	2前	3前	3前	1後	3前	3後	3前	2後	3前	3前	2前	2後・3後	2後	3後	4通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																																			○	○	○	○	
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																																			○	○	○	○	
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																							○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。						○			○			○																					○										○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。														○																								○	○		○	
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。														○																								○	○	○		
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。														○																						○		○	○		○	
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。			○	○									○	○		○																	○									
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。																	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○					
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。					○	○		○	○		○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○					
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。														○														○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。													○	○															○		○	○		○	○	○	○	○	○		○	
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																			○										○					○	○	○	○			○		
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。														○					○														○	○		○	○	○	○	○		
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																			○														○	○	○	○	○				○	
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。														○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○		
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。														○					○	○											○		○	○	○		○	○	○	○	○	
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																			○														○	○		○		○	○	○		○
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○								○	○		○		○	○		○		○	○	○		○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［音楽科教育専攻 ］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																									
				ソルフェージュ	声楽基礎演習	声楽応用演習Ⅰ	声楽応用演習Ⅱ	合唱Ⅰ	合唱Ⅱ	合唱Ⅲ	合唱Ⅳ	オペラ・オラトリオ概説	ピアノ基礎演習	ピアノ応用演習Ⅰ	ピアノ応用演習Ⅱ	弦楽器基礎演習	弦楽器応用演習Ⅰ	弦楽器応用演習Ⅱ	管楽器基礎演習	管楽器応用演習Ⅰ	管楽器応用演習Ⅱ	打楽器基礎演習	打楽器応用演習Ⅰ	打楽器応用演習Ⅱ	伴奏演習	合奏AⅠ（オーケストラ）	合奏AⅡ（オーケストラ）	合奏AⅢ（オーケストラ）	合奏AⅣ（オーケストラ）
			（年） （期）	1前・1後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	4前・4後	2後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	4前・4後
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																										
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																										
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																										
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																										
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																										
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。					○	○	○	○															○	○	○	○
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。					○	○	○	○															○	○	○	○
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。					○	○	○	○															○	○	○	○
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																										
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																										
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																										
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																										
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																										
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																										
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																										
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。									○																	

階層3	階層4																									
	合奏BⅠ（ウインドアンサンブル）	合奏BⅡ（ウインドアンサンブル）	合奏BⅢ（ウインドアンサンブル）	合奏BⅣ（ウインドアンサンブル）	合奏CⅠ（ピアノデュオ）	合奏CⅡ（ピアノデュオ）	合奏CⅢ（ピアノデュオ）	合奏D（リコーダーコンソート）	和楽器演習	指揮法	作曲基礎理論Ⅰ	作曲基礎理論Ⅱ	和声学	作編曲法Ⅰ	作編曲法Ⅱ	音楽史	音楽学概説	中等音楽科教育法概説	中等音楽科教育法演習	音楽科授業実践演習	音楽科教育法特講	音楽科教育総合演習	声楽内容構成研究	器楽内容構成研究	音楽プロデュース論	卒業研究
（年） （期）	1前・1後	2前・2後	3前・3後	4前・4後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	3前・3後	3前	2前	1前	1後	2前	2後	3前	2後	3後	2前	2後	3前	4前	4前	4前	4前	3後	4通
学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解																		○								
学校文化を相対化するための知識・理解																					○	○				
自律的な課題発見・問題解決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
継続的・発展的な学習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○		○	○		○
専門職の責任に関する知識・理解																					○	○				
倫理観や法令等に照らした行動・実践																		○					○	○	○	
理想とする教師像の確立																					○		○	○	○	
地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	○	○	○	○	○	○	○	○															○	○	○	
率先垂範の行動	○	○	○	○	○	○	○	○															○	○	○	
他者との協働	○	○	○	○	○	○	○	○															○	○	○	
教科内容に関する知識・技能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
指導方法に関する知識・技能	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○				○				○	○		
授業設計の知識・技能											○	○						○		○						
授業実践の知識・技能																			○	○						
授業評価の知識・技能																		○		○			○	○		
授業の省察・改善																			○							
学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援																				○			○	○	○	
学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援														○	○						○		○	○	○	
教育データの利活用に関する知識																					○					
ICT活用に関する知識・技能															○	○	○		○	○			○	○		○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［音楽科教育専攻］（令和8年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																									
				ソルフェージュ	声楽基礎演習	声楽応用演習Ⅰ	声楽応用演習Ⅱ	合唱Ⅰ	合唱Ⅱ	合唱Ⅲ	合唱Ⅳ	ピアノ基礎演習	ピアノ応用演習Ⅰ	ピアノ応用演習Ⅱ	弦楽器基礎演習	弦楽器応用演習Ⅰ	弦楽器応用演習Ⅱ	管楽器基礎演習	管楽器応用演習Ⅰ	管楽器応用演習Ⅱ	打楽器基礎演習	打楽器応用演習Ⅰ	打楽器応用演習Ⅱ	伴奏演習	合奏（ウインドアンサンブル）Ⅰ	合奏（ウインドアンサンブル）Ⅱ	合奏（ウインドアンサンブル）Ⅲ	合奏（ウインドアンサンブル）Ⅳ	合奏（リコーダーコンソート）	和楽器演習	指揮法	作曲基礎理論Ⅰ	作曲基礎理論Ⅱ	和声学	作編曲法Ⅰ	作編曲法Ⅱ	音楽史	中等音楽科教育法概説	中等音楽科教育法演習	音楽科授業実践演習	音楽科教育法特講	音楽科教育総合演習	声楽内容構成研究	器楽内容構成研究	卒業研究
			（年） （期）	1前・1後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	4前・4後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	1前・1後	1前・1後	2前・2後	3前・3後	4前・4後	3前・3後	3前	2前	1前	1後	2前	2後	3前	2後	2前	2後	3前	4前	4前	4前	4前	4通
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。																																			○							
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。																																						○	○			
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○		○	○	○
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。																																						○	○			
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。																																			○					○	○	
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。																																						○		○	○	
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。					○	○	○	○														○	○	○	○	○														○	○	
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。					○	○	○	○														○	○	○	○	○														○	○	
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。					○	○	○	○														○	○	○	○	○														○	○	
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○					○	○			○				○	○	
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。																													○	○					○		○					
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。																																				○	○					
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。																																			○		○			○	○	
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。																																				○						
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。																																					○			○	○	
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。																																○	○					○		○	○	
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。																																						○				
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。																																	○	○		○	○			○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［美術科教育専攻］（令和6年度入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標
			（年） （期）
学校・社会創造	学校理解（DP1）	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識・理解	学校教育の歴史や法律・制度に関する知識を有しつつ，それらを批判的に検討できる。
		学校文化を相対化するための知識・理解	学校をめぐる諸課題を把握した上で，より望ましい学校のあり方を追究することができる。
	探究力（DP2）	自律的な課題発見・問題解決	教育や専門領域における課題について，自ら進んで発見・探究し，学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。
		継続的・発展的な学習	教育や専門領域における課題について，研究会等に足を運んだり，専門的共同体に参加したりして継続的・発展的な学習を続けることができる。
	教師像・倫理（DP3）	専門職の責任に関する知識・理解	教育格差の是正やインクルーシブな教育の実現といった専門職が担う責任に関する知識・理解を有している。
		倫理観や法令等に照らした行動・実践	教師として求められる倫理観や教育実践の基盤となる法令等を照らして行動・実践の基盤とすることができる。
		理想とする教師像の確立	教育を通じて公正な社会を実現できる観点から理想の教師像を確立することができる。
	社会参画（DP4）	地域・社会の課題解決を目指した能動的行動	地域や社会の課題解決を目指した活動に継続的に参加し，よりよい社会の実現に向けて能動的に行動することができる。
	リーダーシップ・協働性（DP5）	率先垂範の行動	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において問題解決にあたって自らがイニシアチブをとることができる。
		他者との協働	大学における学修・研究や体験学修・社会参加といったさまざまな場面において進んで他者と協働できる。
教育実践	教科知識・技能（DP6）	教科内容に関する知識・技能	各教科等における基盤となる知識を有し，授業等で実践できる。
		指導方法に関する知識・技能	探究的な学習や個別化学習等の指導方法に関する知識を有し，授業等で実践できる。
	授業実践（DP7）	授業設計の知識・技能	各教科等における教材研究を基盤として，学習目標を適切に設定した上で，そこに到達できるような指導計画を立案できる。
		授業実践の知識・技能	指導計画を踏まえて授業を展開できたり，授業場面において学習者の指導・援助を行ったりすることができる。
		授業評価の知識・技能	診断的評価・形成的評価・総括的評価等の評価計画を構想できる。
		授業の省察・改善	実践した授業について省察し，課題の改善に取り組むことができる。
	学習者理解・支援（DP8）	学習者の発達に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の発達段階や彼らがいかに学習するかに関する知識を有し，それを踏まえた支援ができる。
		学習者の多様性に関する知識とそれを踏まえた支援	学習者の多様性に関する知識を有し，個々の学習者の対応のみならず学校や教室といった学習環境のデザインを検討できる。
	ICT・データ利活用（DP9）	教育データの利活用に関する知識	学習者の教育データを収集し，学習者のつまずきを発見したり，教材や授業の改善に活かしたりするための知識を有している。
		ICT活用に関する知識・技能	学習者の情報活用能力を育成したりICTの効果的な活用方法や活用場面を構想・実践したりすることができる。

階層4																																				
絵画基礎概説	彫刻基礎概説	デザイン基礎概説	工芸基礎概説	芸術学基礎概説	絵画概論	絵画実習Ⅰ	絵画実習Ⅱ	絵画演習A	絵画演習B	彫刻概論	彫刻実習Ⅰ	彫刻実習Ⅱ	彫刻演習A	彫刻演習B	デザイン概論	デザイン実習Ⅰ	デザイン実習Ⅱ	デザイン演習A	デザイン演習B	工芸概論	工芸実習	美術理論概説	美術理論実習	美術科教育法概説	美術科教育法演習	美術科教材研究	美術科授業研究	美術科内容構成研究A	美術科内容構成研究B	美術科内容構成研究C	卒業研究
1前	1前	1前	1前	1前	2前	1後	2後	3前	3前	2前	1後	2前	2後	3前	2前	1後	2前	2後	3前	2後	1後	2後	1後	2前	2後	3前	3後	3前	3前	2後	4通
																								○	○						
																											○				
						○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○		○									○
					○				○	○				○	○				○	○											○
																									○			○	○		
																										○		○	○		
					○					○					○												○	○	○		
																										○	○	○	○	○	
																										○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	
																								○							
																								○	○						
																										○					
																										○					
																										○					
																								○				○	○	○	
																								○				○	○	○	
					○		○			○					○			○			○						○				○
					○		○			○					○			○			○			○	○	○	○				○